

<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<p>1. 県内で野菜についての調査</p> <p>10 月 30 日に 2005 年からやり始めていた「沖大菜」の栽培について調査するために、「南城市奥武島のいまいゆ市場」(花野果村)へ行きましたが、もう店がしまっていました。2 年前の台風で被害を受け、店が全滅したそうです。「南城市奥武島のいまいゆ市場」は 2006 年からずっと「沖大菜」を栽培してきて、「沖大菜」の種も独自に採れる様になり、「沖大菜」の推進に貢献してきたところです。オーナーの大城さんの話によると、店の再開ができれば、また「沖大菜」の栽培に力を入れたいと言いました。</p> <p>沖縄市にある「識名トマト農園」へ行きました。こちらの農園では年中に無農薬でトマトを栽培していて、ハウスの周りの敷地に様々な種類の野草を植えています。識名さんは無農薬栽培、野草などにとても詳しい方です。今回はコロナの影響で話をすることができなかったのですが、また、コロナが収まったら、色々な話を聞きたいと思っています。</p> <p>10 月 31 日は糸満の中村農家を訪れました。2 年前中国の野菜の種を渡しましたが、色々な事情でまだ栽培していないそうです。中村さんは野菜以外に今養鶏場を経営しています。中国で有名な“乌鸡”に興味があって、これから取り入れたいそうです。毎日数多くの卵をとることができますが、売れ残りの卵の保存方法を中国でのやり方をいつか紹介してあげたいと思っています。機会があれば、ゼミ生と一緒に中村農園で農業体験もできたらと思っています。</p> <p>南城市の「かりゆし市」、「東浜ファーマーズ」などへも野菜事情について調査しました。南城市の「かりゆし市」でスーパーで見かけない野菜(ウイキョウ、コリアンダー、細いセロリなど)や野草(スベリヒユ、南米ほうれん草)もありました。こういうところの野菜が新鮮だし、値段も安い。沖縄の農家は独自で工夫して、新しい種の野菜に挑戦しているところが見られます。</p> <p>2. 地元の方からの聞き取り調査</p> <p>料理教室で知り合いになった方から発酵食品の話や松の葉のお茶、松の実などの効能について聞き取りができた。また、中国の発酵のもと、甘酒の作り方など説明してあげた。</p> <p>3. 体験型農園の話</p> <p>1 月 27 日に浦崎直樹さんと崎浜さんという二人の方が研究室まで尋ねに来てくれて、中国の体験農園のことや、中国の野菜のことなどについて尋ねられた。また体験型農園の進行状況について説明してくれて、農園がオープンする時、沖大の中国語コースの学生を紹介してほしいと頼まれた。早速その場で、今年 3 月に卒業する学生を紹介してあげた。</p>
--	--

--	--